

線形代数演習 II 小テスト

担当：若木 宏文

平成 30 年 1 月 25 日実施

学籍番号

氏名

問題 行列 $A = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ -1 & 1 \end{pmatrix}$ の固有多項式を求め、ケイリー・ハミルトンの定理を利用して、 A^{-1} を求めよ.

線形代数演習 II

担当：若木 宏文

平成 30 年 1 月 25 日配布

標準内積とノルム, 角度 ベクトル $\mathbf{v} = \begin{pmatrix} x_1 \\ \vdots \\ x_n \end{pmatrix}, \mathbf{w} = \begin{pmatrix} y_1 \\ \vdots \\ y_n \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^n$ に対して

$$\mathbf{v} \cdot \mathbf{w} = \sum_{i=1}^n x_i y_i$$

を, \mathbf{v} と \mathbf{w} の標準内積という. また $\|\mathbf{v}\| = \sqrt{\mathbf{v} \cdot \mathbf{v}}$ を, \mathbf{v} の (標準的な) ノルムあるいは, 長さとい

$$\cos \theta = \frac{\mathbf{v} \cdot \mathbf{w}}{\|\mathbf{v}\| \|\mathbf{w}\|}$$

となる $\theta \in [0, \pi]$ を \mathbf{v} と \mathbf{w} のなす角という. $\theta = \frac{\pi}{2}$ のとき, \mathbf{v} と \mathbf{w} は直交するという.

※ 以下の問題では, 内積, ノルム, ベクトルのなす角はすべて, 標準内積に基づくものとする.

60. 次で与えられる $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3$ は \mathbb{R}^3 を張ることを示し, $\langle \mathbf{v}_1 \rangle = \langle \mathbf{u}_1 \rangle$,
 $\langle \mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2 \rangle = \langle \mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2 \rangle$ を満たすような \mathbb{R}^3 の正規直交基底 $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3\}$ を求めよ.
ただし, $\langle \mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_k \rangle$ は $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_k$ によって張られる線形部分空間を表す.

$$(1) \{\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3\} = \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\}$$

$$(2) \{\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3\} = \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix} \right\}$$

61. グラムシュミットの直交化法を根拠に, 実数を成分とする任意の正則行列 A は, 直交行列 H と上三角行列 T を用いて $A = HT$ と表されることを示せ.
62. 次のベクトル $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2 \in \mathbb{R}^4$ によって張られる \mathbb{R}^4 の線形部分空間を V とするとき, V の直交補空間の正規直交基底を一組求めよ.

$$(1) \mathbf{v}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{v}_2 = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix} \qquad (2) \mathbf{v}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{v}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$$